

居宅サービス利用者調査（Ｂ）・未利用者調査（Ｃ）素案

「京都市民長寿すこやかプラン」見直しのための
高齢者の生活と健康に関する調査のご協力をお願い

このたび、京都市では「高齢者の生活と健康に関する調査」を実施することになりました。

この調査は、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができる長寿社会の実現に向けて、「京都市民長寿すこやかプラン」（京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）を見直すための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進めるうえで参考とさせていただくために行うものです。

対象となられる方は、市内にお住まいで、介護保険制度の要介護（要支援）認定を受けられた65歳以上の方（平成19年●月●日現在）の中から、無作為に選んだ5,250人の皆様です。

お答えいただいた内容は、統計の目的のみに利用し、皆様には不利益のないよう秘密の保持には万全を期しております。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成19年●月

京 都 市

■ ご返送いただく期日

ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、

平成19年●月●日（●）までにご返送くださいますようお願いいたします。

（切手は不要です。）

■ 調査に関するお問合わせおよび送付先

京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（担当：●●、●●）

電話：（075）251-1106

■ ご記入上のお願い

1. この調査票は、原則として、宛名のご本人がお答えください。健康状態などにより、ご本人によるお答えができない場合のみ、ご本人の状況がわかるご家族の方が、ご本人の意思を確認しながらご記入いただくか、ご本人の立場に立ってご記入ください。
2. 質問文中の「あなた」とは、宛名のご本人のことを指しています。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. この調査票の回答は、あてはまるものに○をつけていただくものがほとんどです。質問により、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、質問に従ってお答えください。

<記入例>

☒ 1 はい 2 いいえ (どちらかに○) ← 「はい」と回答する場合

「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、平成18年3月に「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に見直すとともに両計画の総称を「第3期京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、要介護者への介護サービスの提供のほか、寝たきり、認知症等の予防のためのサービスの提供、ひとり暮らしの高齢者への生活支援、元気な高齢者への健康づくりやいきがいくくりも含め、地域における高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

※ プランの計画期間は、平成18年度から20年度までの3年間ですが、平成20年度に見直すことになっています。

1 宛名のご本人

2 ご家族（ご本人との続柄： ）

3 その他（具体的に： ）

- 1 病院に入院中
- 2 介護保険施設に入所（入院）中
（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養病床など）
- 3 病気やけが
- 4 物忘れがあり、意志疎通が時々難しい
- 5 認知症のため意志疎通がいつも難しい
- 6 障害（身体障害、知的障害など）
- 7 別居・転居
- 8 答えたくない
- 9 その他（具体的に：

1	65~69 歲	4	80~84 歲
2	70~74 歲	5	85 歲以上
3	75~79 歲		

1 男性
2 女性

問3 あなたがお住まいの地区は。(○は1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1 北区 | 8 南区 |
| 2 上京区 | 9 右京区 |
| 3 左京区 | 10 西京区 |
| 4 中京区 | 11 洛西支所 |
| 5 東山区 | 12 伏見区 |
| 6 山科区 | 13 深草支所 |
| 7 下京区 | 14 醍醐支所 |

問3-2 あなたがお住まいの地域は、次のどれに最もよくあてはまりますか。

(○は1つ)

- 1 京町家など昔のまちなみが残る住宅街
- 2 比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街
- 3 昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン
- 4 商店街や企業などが多くある商業地域
- 5 比較的工場が多くある工業中心の地域
- 6 田畑が広がる農業地域
- 7 人口が少なく、交通の不便な山間・過疎地域
- 8 その他(具体的に:)

問4 あなたの年間総収入(年金なども含め、税込みで)はどれぐらいですか。

(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 50万円未満 | 6 400万円台 |
| 2 50万円以上100万円未満 | 7 500万円台 |
| 3 100万円台 | 8 600万円台 |
| 4 200万円台 | 9 700万円以上 |
| 5 300万円台 | |

問5 あなたは現在、どこにお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 自宅 | 4 養護老人ホームに入所している |
| 2 病院に入院中 | 5 ケアハウスや軽費老人ホームに入所している |
| 3 有料老人ホームに入所している | 6 その他(具体的に:) |

【「1」「2」に○をつけた方におたずねします。】

副問1 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 持家(一戸建て) | 5 公営住宅 |
| 2 持家(分譲マンション) | 6 社宅・官舎 |
| 3 民間賃貸住宅(一戸建て) | 7 間借り・住み込み |
| 4 民間賃貸住宅
(マンション・アパートなど) | 8 その他
(具体的に:) |

副問2 お住まいの状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

- 1 住宅が狭い
- 2 住宅が古くなったりいたんだりしている
- 3 家の中の階段が急である／手すりがついていない
- 4 共用部分の階段が急である／手すりがついていない
- 5 エレベーターが設置されていない(2階以上にお住まいの方)
- 6 家の中に大きな段差がある
- 7 立ち退きを迫られている
- 8 その他(具体的に:)
- 9 特に問題はない

問6 ご家族の状況について、お答えください。(○は1つ)

※ この問では、ご本人の配偶者の方も、「あなた」に含めてお答えください。

1 ひとり暮らし

2 夫婦のみ(2人ともに65歳以上)

3 夫婦のみ(2以外の夫婦世帯)

4 兄弟姉妹のみ(全員65歳以上)

5 兄弟姉妹のみ(4以外の兄弟姉妹世帯)

6 あなたと親(二世帯同居)

7 あなたと子供(二世帯同居)

8 あなたと子供と孫(三世帯同居)

9 あなたと親と子供(三世帯同居)

10 その他

(具体的に:

)

副問 【「1」以外に○をつけた方におたずねします。】

(1) あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(○は1つ)

1 ほとんどない

2 ときどきある

3 いつもひとりきりである

(2) あなたは、夜間、ひとりきりになることがありますか。(○は1つ)

1 ほとんどない

2 ときどきある

3 いつもひとりきりである

問7 あなたの要介護度は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 要支援1

2 要支援2

3 要介護1

4 要介護2

5 要介護3

6 要介護4

7 要介護5

問7-2 あなたの要介護度は、前回の要介護認定と比べてどのように変化しましたか。

(○は1つ)

1 軽くなった

2 変化なし

3 重くなった

問8 この半年ぐらいの間で、心身の状態に変化がありましたか。(1)～(11)のそれぞれについて、どのように変化したかを1つずつお答えください。

(1) 外出の回数についてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(2) 人としゃべることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(3) 寝つきや眠りの深さについてはどうですか	1 よくなった	2 悪くなった	3 変化なし
(4) 体重の増減についてはどうですか	1 増えた	2 減った	3 変化なし
(5) 活動意欲についてはどうですか	1 意欲が出てきた	2 意欲が低下した	3 変化なし
(6) 身の回りのこと(片付けなど)についてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(7) 歩くことについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(8) 起き上がることについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(9) 最近の出来事を思い出せないことについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし
(10) 食べ物を噛むことについてはどうですか	1 うまく噛めなくなった	2 うまく噛めるようになった	3 以前から噛める又は変化なし
(11) 不意に尿がもれることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし

問9 あなたの日ごろの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 とても健康だと思う | 4 健康ではないと思う |
| 2 まあ健康だと思う | 5 どちらとも言えない |
| 3 あまり健康ではないと思う | |

問10 あなたには、かかりつけの医師、医療機関がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-------|--------|--------|------|
| 1 開業医 | 2 一般病院 | 3 大学病院 | 4 ない |
|-------|--------|--------|------|

問 11 家の中での日ごろの状況についておたずねします。(1)～(5)のそれぞれについて、1つずつお答えください。(ふだん、つえや車イスなどを使用している方は、それを使用した状態での行動をお答えください。)

(1) 食事をとることに ついてはどうですか	1 手助けなしで できる	2 おかずをきざんで もらうなど、一部 手助けが必要	3 全面的に人の手 を借りないとで きない
(2) 排せつ(トイレ)に ついてはどうですか	1 手助けなしで できる	2 便器に座らせても もらうなど、一部手 助けが必要	3 全面的に人の手 を借りないとで きない
(3) 着替えについてはどう ですか	1 手助けなしで できる	2 そでを通してもら うなど、一部手助 けが必要	3 全面的に人の手 を借りないとで きない
(4) 入浴についてはどう ですか	1 手助けなしで できる	2 身体を洗ってもら うなど、一部手助 けが必要	3 全面的に人の手 を借りないとで きない
(5) 洗顔、歯みがき、ひげ そりなどの身だしなみ についてはどうですか	1 手助けなしで できる	2 タオルで顔をふい てもらうなど、一 部手助けが必要	3 全面的に人の手 を借りないとで きない

問 12 ふだんの生活のご様子についておたずねします。(1)～(13)のそれぞれについて、「1 はい」「2 いいえ」のどちらか1つをお答えください。

(1) バスや電車を使って、ひとりで外出ができますか	1 はい	2 いいえ
(2) 日用品の買い物ができますか	1 はい	2 いいえ
(3) 自分で食事の用意ができますか	1 はい	2 いいえ
(4) 請求書の支払いができますか	1 はい	2 いいえ
(5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか	1 はい	2 いいえ
(6) 年金などの書類が書けますか	1 はい	2 いいえ
(7) 新聞を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(8) 本や雑誌を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(9) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1 はい	2 いいえ
(10) 友人の家を訪ねることがありますか	1 はい	2 いいえ
(11) 家族や友人の相談にのることがありますか	1 はい	2 いいえ
(12) 病人を見舞うことができますか	1 はい	2 いいえ
(13) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1 はい	2 いいえ

問 13 この1年間（平成18年12月～平成19年11月まで）に入院したことがありますか。（どちらかに○）

1 ある（現在、入院中も含む）

2 ない

問 14 現在治療（投薬を含む）を受けている病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 高血圧症

11 糖尿病

2 高脂血症

12 腰痛、膝痛などの病気

3 心臓病（心筋梗塞、狭心症など）

13 眼の病気

4 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）

14 耳、鼻の病気

5 呼吸器系疾患（喘息、肺炎など）

15 精神疾患

6 結核

16 歯の病気

7 消化器系疾患

17 その他

8 泌尿器系疾患

（具体的に： ）

9 腎臓病

18 特にない

10 肝臓病

問 15 あなたは、この1年間（平成18年12月～平成19年11月まで）に転んでケガをしたことがありますか。（○は1つ）

1 ある

2 ない

3 該当しない（寝たきり等のため）

※副問（転んだ場所）削除

※副問（怪我の程度）削除

問 16 あなたは、隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。（○は1つ）

1 困った時に助け合う

3 顔を合わせばあいさつする程度

2 世間話や立ち話をする程度

4 付き合いをしていない

問 17 あなたは、大規模な火事や地震などの災害時に、避難が必要となった場合、誰に援助を求めますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 ひとりで避難できる
- 2 一緒に住んでいる家族
- 3 その他の家族・親戚
- 4 友人
- 5 隣近所の人
- 6 地域の自主防災組織
- 7 民生委員や老人福祉員
- 8 かかりつけの医師
- 9 福祉事務所の職員
- 10 その他（具体的に： _____）
- 11 援助してくれる人がいない

問 18 あなたが、急病などにより入院しなければならない場合、どうしますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 できるだけ隣近所に手助けを求める
- 2 民生委員や老人福祉員、町内会の役員に対応してもらう
- 3 家族や親せきに連絡して対応してもらう
- 4 区役所に連絡して対応してもらう
- 5 かかりつけの医師に連絡して対応してもらう
- 6 消防（救急）や警察に連絡して対応してもらう
- 7 付き合いが少ないので、連絡する人がいない
- 8 その他（具体的に： _____）

問 19 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような方ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 家族・親類
- 2 隣近所の人
- 3 知人・友人
- 4 民生委員や老人福祉員
- 5 かかりつけの医師
- 6 ケアマネジャー（介護支援専門員）
- 7 地域包括支援センターの職員
- 8 京都市長寿すこやかセンターの職員
- 9 福祉事務所の職員
- 10 社会福祉協議会の職員
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特にいない

問 20 あなたは、あなたの地域の町内会長（自治会長）の名前及び顔を両方とも知っていますか。（○は1つ）

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 21 あなたは、あなたの地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っていますか。（○は1つ）

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 22 あなたは、あなたの地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っていますか。
(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 23 あなたは現在、どのような活動に生きがいを感じますか。次の中からあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 趣味や娯楽のサークル活動 | 6 若い世代との交流 |
| 2 学習や教養などを身につける活動 | 7 旅行 |
| 3 健康づくりやスポーツ活動 | 8 その他(具体的に:) |
| 4 地域の団体や行事への参加 | 9 特にない |
| 5 社会奉仕活動 | |

問 24 あなたはふだん、買い物、散歩、通院、趣味活動などでどのくらい外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1 毎日 | 4 週に1～2日 |
| 2 週に5～6日 | 5 月に1～3日 |
| 3 週に3～4日 | 6 ほとんど外出しない |

※副問(外出を控える理由)削除

※旧問18(モラル・スケール)削除

問 25 あなたは現在、介護保険のサービスを利用していますか。（どちらかに○）

1 利用している

2 利用していない



副問 【「2」に○をつけた方におたずねします。】介護サービスを利用していない理由は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 当面家族などによる介護で充分だから
- 2 介護保険以外のサービスを利用しているから
- 3 ふだんから食習慣や生活習慣など健康管理に気を配っているから
- 4 ふだんからスポーツや運動などを意識的に行い、身体機能が劣らないよう努力しているから
- 5 自分で身の回りのことをするように努力しているから
- 6 事業者の職員など、他人を自宅に入れたくないから
- 7 現在病院に入院中だから（又は最近まで入院していたから）
- 8 利用料が高いから
- 9 サービス利用の手続きが複雑で面倒だから
- 10 どのようなサービスを利用したらよいかわからないから
- 11 利用したいサービスが近くにないから
- 12 定員の関係で利用できなかったから
- 13 営業時間や曜日の関係で利用できなかったから
- 14 他人の世話になりたくないから
- 15 近所の目が気になる、世間体が悪いから
- 16 これから利用するつもり
- 17 その他（具体的に： _____）

問 26 居宅介護支援事業所（ケアプランを作成する事業所）及び地域包括支援センターは、どのようにして選びましたか。（○は1つ）

- 1 ケアプランを作成する事業者は利用していない（セルフケアプランなどのため）
- 2 区役所・支所にあるリストから自分（または家族）が選んだ
- 3 訪問調査の調査員と相談して自分（または家族）が選んだ
- 4 介護保険の認定を受ける前に利用していたサービス事業者（病院）からすすめられて自分（または家族）が選んだ
- 5 事業所の広告を見て自分（または家族）が選んだ
- 6 知人にすすめられて自分（または家族）が選んだ
- 7 その他（具体的に： _____）

副問1【「2～7」のいずれかに○をつけた方におたずねします。】事業所を選ぶにあたって、事業所の数が十分あったと感じられましたか。（○は1つ）

- 1 十分あると感じた
- 2 やや不足していると感じた
- 3 不足していると感じた
- 4 わからない

副問2【「2」「3」のいずれかに○をつけた方におたずねします。】不足していると感じられた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 いくつかの事業所に連絡したが断られた
- 2 契約しようとしても、すぐに契約できる事業所がなかった（待機した）
- 3 自分の希望や条件に合う事業所がなかなか見つからなかった
- 4 事業所が自宅の近くになかった
- 5 事業所に関する情報が入手しにくかった
- 6 その他（具体的に： _____）

次のページの副問3、副問4へ

副問3 あなたを担当するケアマネジャーの対応には満足していますか。(○は1つ)

1 満足

2 ほぼ満足

3 ふつう

4 やや不満

5 不満

副問4 【「4」もしくは「5」に○をつけた方におたずねします。】どのようなところが不満ですか。(○は1つ)

- 1 心身の状態や困っていることなどについて、じっくり話を聞いてくれなかった
- 2 サービスの種類や内容の説明が不十分だった
- 3 介護保険で使える限度額や利用料について、説明が不十分だった
- 4 サービスの利用について、希望を十分に取り入れてくれなかった
- 5 特定のサービス事業者を利用するように勧められた
- 6 その他(具体的に:)

問27 あなたは、障害や疾患、認知症の症状などを理由に、サービスの利用を事業者から断られたことはありますか。(どちらかに○)

1 ある

2 ない

副問 【「1」に○をつけた方におたずねします。】その理由は主にどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 個々の障害に応じた対応が難しいため
- 2 体制上の問題で対応が難しいため
- 3 問題行動への対応が難しいため
- 4 医療行為への対応が難しいため
- 5 その他(具体的に:)

問 28 介護保険の居宅サービスの利用状況と希望についておたずねします。(1)～(12)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

サービスの名称と内容	利用しており、足りている	利用しているが、足りない	利用していないが、今後は利用したい	利用する必要がない
(1) 訪問介護<ホームヘルプサービス> (ホームヘルパーが訪問して、入浴・排泄・食事等の介護や家事など日常生活の援助を行う)	1	2	3	4
(2) 訪問入浴介護 (浴槽を積んだ入浴車などで訪問し、入浴の介護を行う)	1	2	3	4
(3) 訪問看護 (主治医の指示に基づいて看護師などが訪問し、療養上の世話や診療の補助を行う)	1	2	3	4
(4) 訪問リハビリテーション (理学療法士や作業療法士が訪問し、機能訓練(リハビリテーション[理学療法・作業療法])を行う)	1	2	3	4
(5) 通所介護<デイサービス> (デイサービスセンターに通って、入浴・排泄・食事の提供、機能訓練を行う)	1	2	3	4
(6) 通所リハビリテーション<デイ・ケア> (医療施設などに通って、心身機能の維持回復や日常生活の自立援助を行う)	1	2	3	4
(7) 短期入所生活介護<ショートステイ> (特別養護老人ホームなどに短期間入所していただき、入浴・排泄・食事その他日常生活の介護や機能訓練を行う)	1	2	3	4
(8) 短期入所療養介護<ショートステイ> (医療施設などに短期間入所していただき、医学的管理のもとで看護や機能訓練、日常生活の介護を行う)	1	2	3	4
(9) 福祉用具の貸与 (車いすやベッドなど在宅生活の継続や機能訓練のための福祉用具の貸出しを行う)	1	2	3	4
(10) 小規模多機能型居宅介護 (小規模な住居型の施設で、通いを中心としながら訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援を行う)	1	2	3	4
(11) 認知症対応型通所介護 (認知症の高齢者が食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を日帰りで行う)	1	2	3	4
(12) 夜間対応型訪問介護 (ヘルパーによる夜間の定期巡回や、緊急時に対応できるよう随時訪問を行う)	1	2	3	4

問 29 介護サービス提供事業者やサービス内容に関して、十分な情報が得られていますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 ふつう 4 やや不満 5 不満

副問 【「4」「5」に○をつけた方におたずねします。】不満を感じておられるのはどのような点ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 知りたい情報が得られない
- 2 どこへ行けば情報を得られるのかわからない
- 3 事業者から十分な説明がない
- 4 情報の内容がわかりにくい
- 5 その他（具体的に：

問 30 現在、介護保険施設に入所（入院）の申込みをしていますか。それぞれについて申込みの有無と、申込んでいる施設数をお答えください。

	申込みの有無 (どちらかに○)	申込み施設数	
(1)介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1 申し込んでいる 2 申し込んでいない	_____カ所	副問へ 問 30 へ
(2)介護老人保健施設 (老人保健施設)	1 申し込んでいる 2 申し込んでいない	_____カ所	
(3)介護療養型医療施設 (療養病床など)	1 申し込んでいる 2 申し込んでいない	_____カ所	

副問1 入所の申込みをされたのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 一人暮らしのため、在宅での生活に不安がある
- 2 申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた
- 3 家族が不在の時に、介護を頼める人がいない
- 4 自宅に介護専用の居室がない
- 5 家族の介護負担が重すぎる
- 6 家族に迷惑をかけたくない
- 7 認知症による問題行動があり、在宅では対応できない
- 8 在宅介護と比べ、施設の方が身体能力等の維持向上に効果があるように思う
- 9 在宅でサービスを利用するよりも割安感がある
- 10 その他（具体的に： _____）

副問2 入所申込みをするきっかけは、どのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 自分で希望して
- 2 家族に勧められて
- 3 ケアマネジャーから勧められて
- 4 地域包括支援センターから勧められて
- 5 サービス提供事業者から勧められて
- 6 医師、病院から勧められて
- 7 民生委員や老人福祉員から勧められて
- 8 知人や近隣の人から勧められて
- 9 市（区役所・支所の相談窓口）から勧められて
- 10 その他（具体的に： _____）

副問3 施設への早急な入所を希望しますか。（○は1つ）

- 1 早急な入所を希望する
- 2 居宅サービスの利用や家族などの介護により、しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない
- 3 現在病院に入院中で、治療が必要な状態であるため、早急な入所を希望しない
- 4 その他（具体的に： _____）

問 31 あなたは日ごろ、ご自分の心身の変化（足腰のおとろえ、気力がわかず何もしたくなくなるなど）に気を配り、早目に改善しておられますか。（○は1つ）

- 1 日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる
- 2 気をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない
- 3 あまり気をつけていない
- 4 まったく気をつけていない

問 32 介護が必要でない状態を継続するために、あるいは介護が必要となってもこれ以上悪化させないためには、糖尿病や脳卒中、心臓病などの生活習慣病予防のほか、高齢期特有の老化の予防が必要です。老化の予防には、足などの筋力をつけること、低栄養にならないよう栄養改善をすること、尿失禁予防、認知症にならないための予防などがあります。

このことについて、あなたはご存知でしたか。(○は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 聞いたことはある
- 4 まったく知らない

問 33 あなたは日ごろ、病気の予防や健康づくり、老化の予防に関する情報や助言を主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 配偶者 | 9 薬局 |
| 2 子ども | 10 保健所 |
| 3 孫 | 11 福祉事務所 |
| 4 その他の家族 | 12 新聞・テレビ |
| 5 健康づくりのグループなどの仲間 | 13 書籍・雑誌 |
| 6 地域包括支援センター | 14 その他（具体的に： |
| 7 京都市長寿すこやかセンター | 15 特にない |
| 8 医師・看護師 | |

※旧問 27（病気の予防や健康づくり、老化の予防のための取組み）は新問 33 に統合

問 34 あなたは、下記の病気の予防や健康づくり、老化予防のための取組みについて、現在あるいは今後どのように考えていますか。(1)～(14)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない
(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る	1	2	3	4
(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする	1	2	3	4
(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする	1	2	3	4
(4) 肥満や栄養不足などにならないよう、栄養バランスを考えた食事をする	1	2	3	4
(5) バランスのとれた食生活、栄養改善などに関する相談や地域の教室に参加する	1	2	3	4
(6) 食べることなどお口の機能低下の予防に関する相談や地域での教室に参加する	1	2	3	4
(7) 転倒や骨折予防のための筋力向上をめざした地域での教室に参加する	1	2	3	4
(8) 定期的に健康診断を受診する	1	2	3	4
(9) 歯磨きを毎日おこなう	1	2	3	4
(10) 定期的に歯科検診を受診する	1	2	3	4
(11) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する	1	2	3	4
(12) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する	1	2	3	4
(13) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する	1	2	3	4
(14) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする	1	2	3	4
(15) 収入を得る仕事をする	1	2	3	4

問 35 もし、あなたが介護や支援などが必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。（○は1つ）

1 主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい

2 主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい

3 老人保健施設（※1）に入所したい

4 療養病床（※2）などに入院したい

5 特別養護老人ホーム（※3）に入所したい

6 グループホーム（※4）に入所したい

7 養護老人ホーム（※5）に入所したい

8 ケアハウス（※6）に入所したい

9 有料老人ホーム（※7）に入所したい

10 その他（具体的に：

）

11 わからない

【「1」に○をつけた方におたずねします。】

副問 あなたは、自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合、主にごどのようなサービスを利用したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1 ホームヘルプ・デイサービス・ショートステイなどの介護保険サービス

2 配食サービス・緊急通報システム（あんしんネット 119）などの高齢者福祉サービス

3 小規模多機能型居宅介護（※8）や夜間対応型訪問介護（※9）など、住み慣れた地域で利用できるサービス

4 その他（具体的に：

）

※1 老人保健施設：医学的管理の下での介護、看護、機能訓練、その他必要な医療などを行い、家庭での生活に戻れるよう支援する施設

※2 療養病床：長期療養が必要な方に、看護、医学的管理下での介護、その他必要な医療などを提供する介護体制が整った施設

※3 特別養護老人ホーム：日常生活で常に介護が必要で、在宅での介護が困難な方に、日常生活の介護、健康管理を行う施設

※4 グループホーム：少人数の認知症の高齢者がそれぞれ個室を持ち、家庭的な雰囲気の中で介護職員の世話を受けながら共同生活する施設

※5 養護老人ホーム：65 歳以上の方で、環境上の理由及び経済上の理由で居宅において生活できない場合に入所できる施設

※6 ケアハウス：居宅での生活が困難な 60 歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯などが入居でき、入浴・食事等の提供を受けながら生活する施設

※7 有料老人ホーム：高齢者を対象とした住宅に、食事などのサービス機能が付いた施設

※8 小規模多機能型居宅介護：通いを中心として、介護の必要な人の状態に応じ、随時訪問や泊まりを組み合わせサービスを提供し、介護度が中重度になっても在宅生活が継続できるよう支援するサービス

※9 夜間対応型訪問介護：24 時間安心して在宅で生活できるよう、夜間の定期的な巡回訪問や、利用者からの連絡に応じた随時訪問を組み合わせた訪問介護サービス

問 36 では、どのような支援が身近にあれば、自宅での生活を続けていけると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること
- 2 入浴やトイレなどを介助してもらえること
- 3 夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること
- 4 自宅の近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること
- 5 家賃負担が軽減されること
- 6 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること
- 7 病院まで送り迎えしてもらえること
- 8 自宅に来てくれる医師や看護師がいること
- 9 外出時に介助してくれる人がいること
- 10 住宅を改修するための支援を受けられること
- 11 日中の活動や交流できる場があること
- 12 気軽に相談できる窓口が身近にあること
- 13 自宅にいても必要な情報が得られること
- 14 隣近所の人と互いに声かけや見守りを行うこと
- 15 地域での見回りなど、防犯対策がしっかりしていること
- 16 地域の災害時の対応がしっかりしていること
- 17 悪質商法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること
- 18 その他（具体的に： _____）
- 19 特になし

問 37 あなたの介護保険料の段階はどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 第1段階（年額 28,560 円） | 6 第6段階（年額 71,400 円） |
| 2 第2段階（年額 28,560 円） | 7 第7段階（年額 85,680 円） |
| 3 第3段階（年額 42,840 円） | 8 第8段階（年額 99,960 円） |
| 4 第4段階（年額 57,120 円） | 9 第9段階（年額 114,240 円） |
| 5 第5段階（年額 62,832 円） | 10 わからない |

【参考】京都市における現在の第1号被保険者保険料

所得段階区分				介護保険料年額 （月額）
			設定の考え方	
第1段階	●本人が生活保護を受給している場合 ●本人が老齢福祉年金を受給し、本人及びすべての世帯員が市民税非課税の場合		基準額 ×0.5	28,560 円 (2,380 円)
第2段階	●本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、〔（前年の合計所得金額＋課税年金収入額）≤80 万円／年〕を満たす者		基準額 ×0.5	28,560 円 (2,380 円)
第3段階	●本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、第2段階以外の者		基準額 ×0.75	42,840 円 (3,570 円)
第4段階	●本人が市民税非課税で、世帯員の中に市民税課税者がいる場合		基準額	57,120 円 (4,760 円)
第5段階	●本人が市民税課税者の場合	前年の合計所得金額	125万円以下	基準額 ×1.1 62,832 円 (5,236 円)
第6段階			200万円未満	基準額 ×1.25 71,400 円 (5,950 円)
第7段階			400万円未満	基準額 ×1.5 85,680 円 (7,140 円)
第8段階			700万円未満	基準額 ×1.75 99,960 円 (8,330 円)
第9段階			700万円以上	基準額 ×2.0 114,240 円 (9,520 円)

※ あなたの介護保険料の所得段階区分については、本年7月に本市がお送りした平成19年度介護保険料の通知書に記載しています。

問 38 介護に必要となる費用の一部（約 19％）は、第 1 号被保険者（65 歳以上）が所得に応じて負担する保険料でまかなうことになっています。現在の所得段階別保険料は問 37 の表にあるとおりですが、この設定方法などについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。なお、制度の仕組みとして、低所得層（第 1 段階から第 3 段階）の保険料を軽減すれば、それ以外の方の保険料が増えることになります。（○は 1 つ）

- 1 このままの設定でよい
- 2 このままの設定でよいが、高齢者全体の保険料を一律に少しだけ上げて、その財源で困窮している方の保険料を下げる
- 3 所得段階に応じて細かな設定をし、高所得層の保険料を上げて、その財源で低所得層の保険料を下げる
- 4 その他（具体的に： _____）
- 5 わからない

問 39 介護保険制度では、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの利用者の割合が高いほど、また、利用者 1 人当たりの利用される介護サービス量が多いほど、介護保険料が高くなります。

今後の保険料のあり方について、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。

（○は 1 つ）

- 1 保険料がある程度高くなっても、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量をもっと充実させるべき
- 2 施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量を抑えて、保険料を上げない方がよい
- 3 その他（具体的に： _____）
- 4 わからない

【参考】高齢者 1 人当たりの介護サービスに必要な費用と介護保険料基準額

事業計画運営期間	計画で見込んだ 介護サービスに必要な費用	介護保険料
第 1 期 (平成 12 年度～14 年度)	約 208,000 円／年	35,496 円／年 (2,958 円／月)
第 2 期 (平成 15 年度～17 年度)	約 255,700 円／年	46,392 円／年 (3,866 円／月)
第 3 期 (平成 18 年度～20 年度)	約 272,400 円／年	57,120 円／年 (4,760 円／月)

問 40 介護サービスを利用する際には、利用料として1割負担が必要ですが、これについて、あなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか。（○は1つ）

- 1 サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である
- 2 1割負担は重い、やむを得ない
- 3 1割負担は重い
- 4 1割負担は軽い
- 5 その他（具体的に： _____）
- 6 わからない

問 41 高齢者保健福祉について、今後どのような施策の充実を望まれますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 在宅福祉サービスの充実
- 2 認知症高齢者や一人暮らし高齢者が在宅生活を継続できるよう、住み慣れた地域で利用できるサービスの充実
- 3 施設サービスの充実
- 4 病気の予防や健康づくり、老化の予防の支援
- 5 高齢者が働く場の確保や就職のあっせん
- 6 高齢者が社会参加しやすい働きかけ
- 7 高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援
- 8 高齢者と若い世代の交流の場づくり
- 9 建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり
- 10 高齢者向け住宅の充実
- 11 気軽に利用できる相談窓口の充実
- 12 その他（具体的に： _____）

問 42 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについてのご意見がありましたら、
ご自由にお書きください。

ここからはふだん介護されている方におたずねします。

問 43 宛名の高齢者の方をふだん介護されている方（主な介護者）はどなたですか。

(1) 続柄 (○は1つ)

- | | | | |
|---|-----|---|----------------------------------|
| 1 | 配偶者 | 4 | 息子の配偶者 |
| 2 | 息子 | 5 | 娘の配偶者 |
| 3 | 娘 | 6 | その他（具体的に： ） |

(2) 年代 (○は1つ)

- | | | | |
|---|--------|---|--------|
| 1 | 30 歳未満 | 4 | 50 歳代 |
| 2 | 30 歳代 | 5 | 60 歳代 |
| 3 | 40 歳代 | 6 | 70 歳以上 |

問 43-2 宛名の高齢者の介護について、サービスを利用するかなど、意思決定に最も関わっておられる方はどなたですか。

(1) 続柄 (○は1つ)

- | | | | |
|---|-----|---|----------------------------------|
| 1 | 配偶者 | 4 | 息子の配偶者 |
| 2 | 息子 | 5 | 娘の配偶者 |
| 3 | 娘 | 6 | その他（具体的に： ） |

(2) 年代 (○は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 30 歳未満 | 4 50 歳代 |
| 2 30 歳代 | 5 60 歳代 |
| 3 40 歳代 | 6 70 歳以上 |

問 44 家庭での介護について、負担が大きいと感じるのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 毎日の食事の用意 | 8 本人との人間関係がうまくいかない |
| 2 掃除や洗濯 | 9 他の家族や親戚などの理解・協力が得られない |
| 3 外出の介助 | 10 自由な時間がとれない |
| 4 入浴の介助 | 11 費用がかかる |
| 5 室内の移動 | 12 その他 |
| 6 本人が介護サービスの利用を嫌がる | (具体的に： |
| 7 介護の方法がわからない |) |

問 45 介護されている方の昼間の生活状況は。(○は1つ)

- 1 自宅にいて主に介護をしている
- 2 自宅にいて主に家事をしている
- 3 自宅にいて主に仕事をしている
- 4 パートで働きに出ている
- 5 常勤で働きに出ている
- 6 その他(具体的に: _____)

問 46 介護者の方ご自身は、どのようなサービスを利用したいですか。

(1)～(4)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

	ぜひ利用 したい	機会があれば、 利用してみたい	利用する 必要がない
(1) 日常の介助から一時的にリフレッシュするためのサービス	1	2	3
(2) 介助している家族等を対象とする、介助方法等についての教室	1	2	3
(3) 介助者同士の交流の場	1	2	3
(4) 介助者の健康増進を図るサービス(健診、訪問指導等)	1	2	3

調査にご協力いただき、ありがとうございました。